



条幅規定

師範 重富 翠柳

文字の大小、余白の美しさに目を引かれ、流れよく気脈の通った作品である。や、潤筆(ニジミ)、渴筆(カスレ)、破筆などの線をはつきりと加味すれば、立体感の増す作品になったであろう。

条幅随意

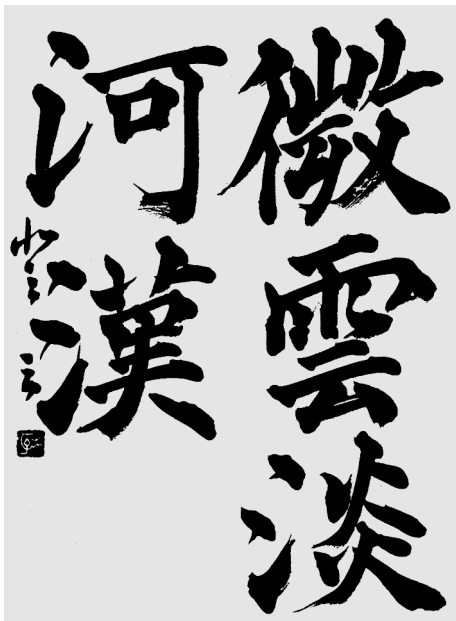
師範 鹿毛 純光

左右に空間をとり、二行目で動きをとりながら、字形の変化、字間の疎密でうまく文字を響き合せている。ほどよい緊張感の中に意志の強さと細かなやさしさが垣間見られる。

条幅随意(臨書)

準六段 木下 美鳳

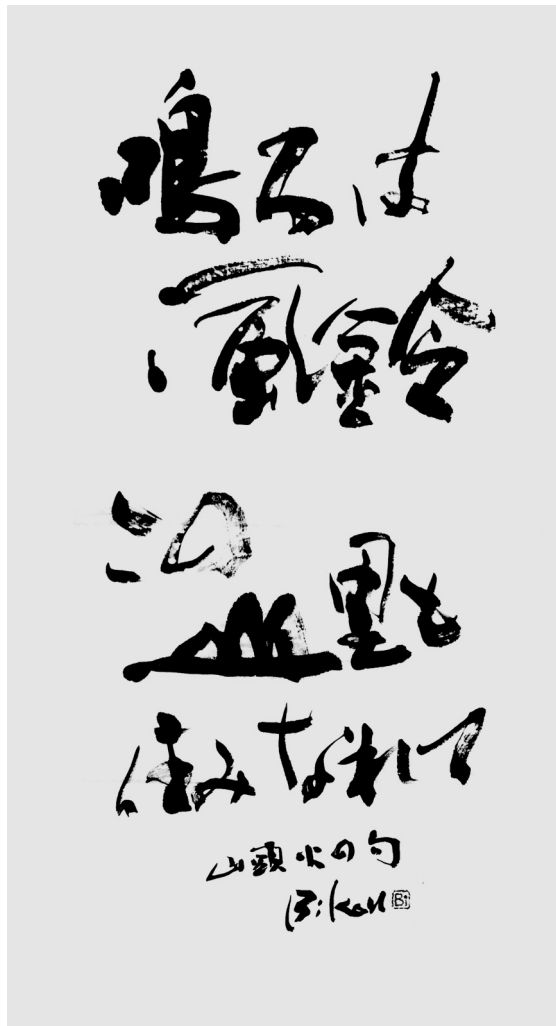
や、終筆とハネに重さを感じるが、欧法の特徴をよく理解し、碑の細部まで注意を払い、清純でなごやかな風韻までよく表現され、書に対する熱い心と楽しさを感じさせてくれる作である。



半紙規定

師範 山田 登之

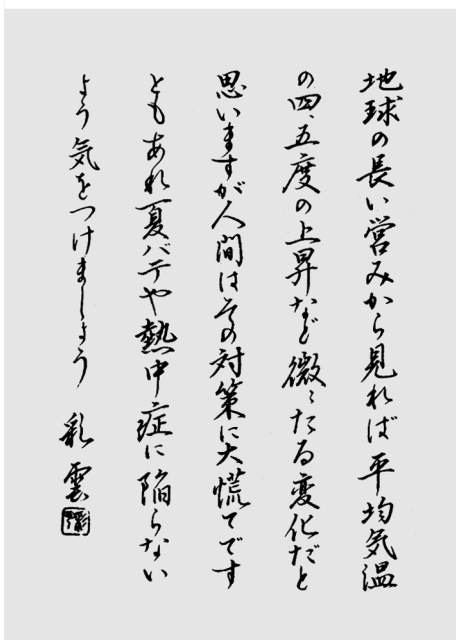
参考手本に捕われることなく、北魏の書風を彷彿させる威風堂々とした作。真面目さと頑固さに魅力がある。本文にしては雅印が残念。再考を。



半紙随意

六段 諸山 彩雲

その人の癖や、心の乱など実用書にはそれがすぐに投影され、その作家の技量が解る。この作は最後まで安定した書きぶりで白眉の作。



半紙随意(臨書)

師範正 山口 裕華

リズムに乗った切れ味のよい運筆と無理のない自然な欧法が、明るさと立体感を醸し出している。好きな古典であれば更なる追求を。

半折1/2縦

師範 榎園 美鴻

山頭火の俳句をここまで大胆に表現出来る腕は、日々の努力と本人の磨かれた感性の賜であろう。「この山里も」部分に魅力大。墨色、名前は、この俳句には？更に上位を目指し、美鴻ワールドに期待する。

(7月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

学生部条幅 $\frac{1}{4}$

中一 特待生 野見山 和

さすが「特待生」の作品です。行書のリズムをしつかりと自分のものにして、伸びやかに書けています。今後は一般部へも挑戦しましょう。

白水あやか
小一準7級

小一 準7級
 おおきな「そら」
 がかけましたね。
 あやかさんの元
 氣がさくひんに
 あふれています。
 しつかりとれん
 しゅうができて
 いて、りっぱです。

池烟 雅

小二 4級

むずかしいかだ
いでしたが、紙
いっぱいにげん
きよく書いてい
ます。名前もし
っかりと書いて
いて、これから
が楽しみです。

お手本をよく
て、形よく、
いねいに書け
います。この
ようにしてさら
上の段を目ざ
てがんばって
ださいね。

徳丸 仁菜

初三

小四 四段
基本の筆づかい
がしつかりとで
きています。力
のこもった強い
線でどうどうと
書けましたね。
今後、さらに期
待しています。

山崎心海

小四
準二段

伸びやかな線でスケールの大きな作品が書けましたね。名前の位置がおしかったのですが、とてもみ力のある作品です。

お手本をよく観察し、丁寧なづかいでしっかりと書けています。今後はさらにの段位を目指し一枚でも多く練習しましょう。

竹井 純白

五
五段

小五 準五段
本文・名前ともにすっかりと練習のできた立派な作品です。日頃の練習の成果だと思えます。これからも頑張ってください。

中島ひなた

小六
準四段

伸びやかな「祭典」が書けましたね。名前が少し小さくなった点はおいしいのですが、気のこもった線に魅力のある作品です。

行書のリズム
なれて伸びや
にバランスよ
書けましたね
日頃の努力の
ものですね
「特待生」を目
し頑張ってる

重井 堇

六段

新井 希梨

中二・三準特待生
平仮名と漢字の
バランスが良く、
明るく書けまし
た。さすが「準特
待生」ですね。完
成度の高い大人
顔負けの作品で
す。

中一
白
野見山
夜
和
の
光

わひりま

仁菜

仁菜

大地

竹井純白

平和

五年 池田陽香

五年 池田陽香

四年
河内
珠希

大地

四年
河内
珠希

あやかし

あやか

祭典

ひ
な
た

中一重井 董

中一重井董

中二
あか
雲
新井
希梨

中二
新井 希梨

(7月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

段 級					
氏 名					
ま	か	か	た	お	
つ	ら	た		う	
お	を	い	く	む	
か			ち	は	
な	わ	た	ば		
る	り	ね	し	ま	
み	ま	の	で	が	
	す			っ	

出来事や事からを正しく
つたえるためには、取材を
して、事実を正かくにとら
える必要があります。

狂言はせりふやしぐさを主とした劇で、能ぶ台の上で演じられ、主役を「シテ」、その相手役を「アド」といいます。せりふは昔の言葉のままで、独特の調子があります。

院 線
氏 名
滝田 妃愛

授業に来てみると、みんなのかいた絵が壁にはられていた。毎日、その数は増えていった。みんなが作った彫刻のつづきに、全員で意見を言ひ合ひ、ウィルスンさんも加わった。

姓 名	寺崎 悠那
-----	-------

段 級					
氏 名					
前田 ゆい	を	お	中	か	
		よ	を	が	
		ぎ		や	
	お		み	く	
	い	大	ん		
	出	き	な	光	
	し	な	は	の	
	た	魚			
	。				

アンケートの結果について意見や解説をいただくものだったので準備に時間はかからなかった。インタビュは、予定の時間内に終えることができた

狂言はせりふやしぐさを主とした劇で、能ぶ台の上で演じられま
す。主役を「シテ」、その相手役を「ア
ド」といいます。せりふは昔の言葉彙
のままで、独特の調子があります。

暑さの一段と最うなてよりまたが、
そのほかにお過すては、
この度はお心のしたお品をお贈りいただき、
ありがとうございました。我が家は朝の食卓に
果物が欠かれません。早速今朝のテーブルに
並べました。珍しくぶどうの食感とさわやかな
甘みに、幸甚な一日のスタートです。
夏はこれから今番を迎えます。どうぞ、
皆様、自愛くださいませ。

杓果

通学路や学校家の中な
どから、記号を集め見つ
けた記号をノートやカ
ードにきろくしよう。

アンケートの結果について意見や解説をいただくものだったので、準備に時間はかからなかった。インタビューは、予定の時間内に終えることができた。

授業に来てみると、みんなのかいた
絵が壁にはられていた。毎日、その
数は増えていった。みんなが作った
彫刻の二つに、全買で意見を言
い合い、ウィルスさんも加わった。

夏の夕暮れには、二つの恋星が天頂に
清明な光を放ち始める。空を仰ぐ。天
の川にかかる白鳥座が羽を広げる。
万葉の時代はひめ星のもとに急ぐひ
こ星の舟の音が聞こえたことだろう。

姓 名	椎野 逸記
-----	-------

松岡なるみ
小一 準5級
一もじ一もじお
手本をよくみて、
ていねいにつけ
ています。ペン
の使い方もとて
りっぱなさくひ
んです。

前田 ゆい
小二 5級

阿部 柚希
小三 2級
力のこもった線
で一字一字一生
けん命に書けま
したね。これか
らは、エンピツを
もう少し軽くに
ぎるとさらによ
くなりますよ。

原口 美空
小四 準初段
ペンをじょうず
に使い名前まで
集中してしま
くと書いていま
す。この調子で
さらに「上」を目
ざして、がんば
ってください！

山本 彩心
小五 三段
お手本をしつかりと観察して、漢字と平仮名のバランスが良くまとまりのある明るい作品が書けました。今後さらに期待！

大塚 綾美
小五 準三段
全体的に少し文字が小さい点はおしかったのですが、本文・名前とともに安定感のある完成度の高い明るい作品です。

滝田 妃愛
小六 準六段
気のこもった強い線で、ペンを上手に使いこなすし明るく作品をまとめている点は、さすが上位有段者です。今後が楽しみです。

白倉 美鈴
小六 準五段
形よく丁寧に書
けています。鉛
筆のにぎり方を
気をつけると、
右払いに伸びや
かさが増すと思
います。頑張っ
てください。

長尾 百花
中学 準特待生
力のこもった強い線で、最初から最後まで集中力を切らさず、堂々と書けています。この調子で「特待生を目指し、頑張つてね。」

寺崎 悠那
中学 準六段
明るい線ですつ
きりと書けてい
ます。今後は、も
う少しゆつくり
と書き、右払い
など細部に気を
つけましょう。頑
張って下さい。

杉原 杏果
一般 師 範
お手本をよく観
察し、伸びやかに
書いています。今
後は、抑揚の変
化を意識し、自
己のリズムの確
立を目指して頑
張って下さい。

樵野 逸記
一般 師 範
日頃の努力が実
を結んで、安定
感のある明るい
作品になりました。
今後は、ペ
ンを軽く握ると
伸びやかさが増
すと思います。